

植物と生きる

震災から1年目のこの春を、私たちはきっと特別な想いで迎えることでしょう。

芽吹く春を心待ちにするのは、生きとし生けるもの全てが、喜びと希望に満ちた自然の恵みに感謝する瞬間でも

あります。今回は謙虚に自然と関わりながら、強い意志と柔軟な感性で、植物とともに暮らしている方々の生き方を紹介します。



『ターシャの庭づくり』

ターシャ・テューダ/著
メディアファクトリー

アメリカのバーモント州で、自然とともに1800年代の農村の生活を貫いた生き方は、日本でも大変注目されました。30万坪の敷地に四季の植物を慈しみ育てて作った庭は、輝くまでに美しく心まで癒してくれます。庭づくりのバイブルにどうぞ。



『ベニシアのハーブ便り』

ベニシア・スタンリー・スミス/著
世界文化社

著者はイギリスの貴族に生まれましたが、ヨーロッパからインド、日本へと、紆余曲折の人生を経てたどり着きました。京都、大原の里に200種のハーブを育てながら、自然環境に配慮したエコな暮らしを楽しんでいます。ハーブで作った料理や日常雑貨が紹介され、ハーブの効能にも驚きです。



『木村秋則と自然栽培の世界』

木村秋則/編 日本経済新聞出版社

『奇跡のリンゴ』でその栽培法に大変注目を集めた木村さんと、自然栽培を実践している生産者が、環境保全農業について具体的に語った1冊。巻末には自然栽培の簡単マニュアルも掲載されており、農業に興味のある方におすすめです。



『それでも、世界一うまい米を作る』

奥野修司/著 講談社

福島県にある農業集団が、日本の食料の安全のために、新しい栽培方法に取り組みました。安全な作物を安定供給することへのこだわりが、力強く描かれています。また、日本の米事情についても必見です。

お知らせ 3月

「ブックトーク講座」で本の紹介の仕方を研修しました

児童書を楽しく紹介するための講座を、1月31日(火)、溝口図書館で開催し、町内の図書担当者や読み聞かせボランティアの方たちが参加しました。

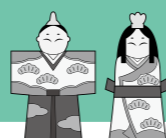
講師の高橋素子さんの子どもたちへの想いと、本への情熱が伝わる研修会でした。



展示会が 開催されます

鳥取市立用瀬図書館所蔵「用瀬流しびな蔵書コレクション」展を開催します。秘蔵の数々を、ぜひご覧ください。

とき 3月17日(土)~25日(日)
 ※19日・20日は休館
 ところ 溝口図書館



新着図書情報

溝口図書館

- 《小説》
- ◆無冠の父 阿久悠/著
 - ◆あるじは秀吉 岩井三四二/著
 - ◆あなたの子 角田光代/著
 - ◆防波堤 今野敏/著
 - ◆小説平清盛 高橋直樹/著
 - ◆雪の訓練生 多和田葉子/著
 - ◆加藤清正虎の夢見し 津本陽/著
 - ◆キングを探せ 法月綸太郎/著
 - ◆流燈記 三浦哲郎/著
 - ◆検事の本懐 柚月裕子/著
- 《動物》
- ◆ちっぽけ村にねこ10ぴきと。 どいかや/著
 - ◆年老いた猫との暮らし方 ダン・ポインター/著
 - ◆ベイリー、大好き 岩貞るみこ/文

- 《動物》
- ◆ちっぽけ村にねこ10ぴきと。 どいかや/著
 - ◆年老いた猫との暮らし方 ダン・ポインター/著
 - ◆ベイリー、大好き 岩貞るみこ/文

『僕に生きる力をくれた犬』

NHKBS「プリズン・ドッグ」取材班/著
ポット出版

アメリカのある更生施設では、捨て犬の飼育を通じて受刑者の更生を促す『ドッグ・プログラム』が行われています。傷ついた犬と罪を犯した若者との交流を描いた感動の1冊です。



- 《じどうしゃ》
- ◆「はやぶさ」がとどけたタイムカプセル 山下美樹/文
 - ◆怪物-わたしたちのべつのか? ピエール・ベジュ/文

ブックトーク講座で紹介されました。

『小さなバイキング ビッケ』

ルーネル・ヨンソン/作 石渡利康/訳
評論社

力ではなく『知恵』で戦った小さなバイキングがいました。いろいろな国で映画やアニメの主人公になり、人気者となったビッケのはじめての冒険物語です。



図書 カレンダー 3月 休館日

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31

溝口・岸本図書館 二部・日光公民館

※図書館(室)にない本は、リクエスト・予約できます。
 ※リクエスト・予約は電話でも受付けています。
 ※図書館(室)で借りた本は、溝口図書館・岸本図書館・二部公民館・日光公民館どこでも返却できます。
 ※本が破損・汚損した場合は、そのままの状態でもカウンターまでお持ちください。

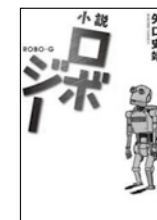
岸本図書館

- 《小説》
- ◆消失グラデーション 長沢樹/著
 - ◆用心棒血戦記 鳥羽亮/著
 - ◆銀婚式物語 新井素子/著
 - ◆悪童 森村誠一/著
 - ◆春告げ坂 安住洋子/著
 - ◆煙とサクランボ 松尾由美/著
 - ◆曾根崎心 角田光代/著
 - ◆江田島殺人事件 内田康夫/著

『小説ロボジー』

矢口史靖/著 メディアファクトリー

家電メーカーのダメ社員3人は、社長の命令で二足歩行型ロボットの開発を命じられましたが、博覧会直前に大破させてしまいました。その場しのぎで体型の合う老人をだまして中に入れてしまったものの...?はたしてそのてん末は?映画でも上映中です。



- 《えほん》
- ◆いもほりきょうだいホーリーとホーレ 石井聖岳/作・絵
 - ◆どっからたべよう 井上洋介/作・絵
 - ◆ぼくもおにいちゃんになりたいな アスリッド・リンドグレン/文
 - ◆おじいさんのいえ 上垣歩子/作
 - ◆おじいちゃんがおばけになったわけ キム・フォックス・オーカソン/文

- ◆おにいちゃんがいるからね ウルフ・ニルソン/文
- ◆ぼくのひよこ 高部晴市/作・絵
- ◆おたねさん 竹内通雅/作・絵
- ◆ビッグパーン! 中谷靖彦/作・絵
- ◆おこってるんだからね 川之上英子/著

二部公民館図書室

- 《伝記》
- ◆導かれし者 小宮良之/著

二部公民館長おすすめ

『あんぽん』

佐野真一/著 小学館

ソフトバンクの孫正義社長の半生記として、連載中から話題になっていたものをまとめた本です。“在日三世”として生をうけ、いかにして身を起こしたのか...?様々な謎を本書で明らかにしています。



- 《農業》
- ◆農家が教える品種とことん活用読本 農村漁村文化協会

日光公民館図書室

- 《自然》
- ◆野の花さんぽ図鑑 長谷川哲雄/著
 - ◆おいしい水の郷 祝部大輔/著

- 《紙工芸》
- ◆おり紙花散歩 川井淑子/共著
 - ◆くらしを彩る美しい切り紙 大原まゆみ/著